

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

1. 化学品及び会社情報

製品情報

製品名 : アサヒシール プライマーA

会社情報

会社名 : 三井化学株式会社
住所 : 東京都港区東新橋一丁目5番2号
担当部門 : コーティング・機能材事業部
電話 : 03-6253-4155
FAX番号 : 03-6253-4222

整理番号 : P126175J

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体 : 区分2
急性毒性（吸入） : 区分3
眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感作性 : 区分1
皮膚感作性 : 区分1
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分2（呼吸器系，肝臓，中枢神経系，腎臓）
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分3（気道刺激性，麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分2（呼吸器系，神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入） : 区分2（嗅覚器，腎臓）
水生環境有害性（急性有害性） : 区分2

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体及び蒸気
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
吸入すると有毒
吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすお

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

それ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器（呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓）の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器系、神経系）の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（嗅覚器、腎臓）の障害のおそれ

水生生物に毒性

注意書き

： 予防策：

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、火花、裸火及び高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を密閉し、容器を接地、アースをとるなど静電気放電に対する予防措置を講ずること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、及び火花を発生しない工具を使用すること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。

取扱い後は手および顔をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

応急措置：

火災の場合には、消火に霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素（CO₂）、乾燥砂などを使用すること。

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移して休息させ、医師の手当を受けさせること。

皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹼）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。

皮膚（又は髪）に付着した場合は直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹼）で洗うこと。

眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。

特別な処置が緊急に必要な場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管：

容器を密閉して、換気の良いところに施錠して保管すること。

容器を密閉して、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、換気の良い涼しいところに保管すること。

廃棄：

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 溶剤含有イソシアネート基末端ウレタン樹脂

化学名 (別名)	化学特性(示性式、 構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	50%	化審法:既存
メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート (トリレンジイソシアネート)	C9-H6-N2-02	26471-62-5	1.2%	化審法:3-2214
エチルベンゼン	C8-H10	100-41-4	5.6%	化審法:3-28
キシレン	C8-H10	1330-20-7	6.0%	化審法:3-3
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-03	108-65-6	12%	化審法:2-3144
酢酸エチル	C4-H8-02	141-78-6	26%	化審法:2-726
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	C15-H24-0	128-37-0	0.1%	化審法:3-540

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は、酸素吸入）を行う。
身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

-
- | | |
|---------------|---|
| 眼に入った場合 | : 直ちに医師に診断/手当てを受けること。
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。 |
| 応急措置をする者の保護 | : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 症状に応じた治療を行う。 |
-

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 消火剤 | : 霧状水, 泡消火剤, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO2), 乾燥砂 |
| 使ってはならない消火剤 | : 棒状水 |
| 特有の危険有害性 | : 当該製品は着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。
当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。 |
| 詳細情報 | : 付近の発火源となるものを速やかに取り除く。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。 |
-

6. 漏出時の措置

- | | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、蒸気やミストを吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。 |
|-----------------------|--|
-

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

火災爆発の危険性、有害性を知らせる。

- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
有害性が強いので、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 火花を発生させない工具を使用すること。
少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
水上に流出した非水溶性の製品は、適切な吸収材を使用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
空気と混合して爆発の危険性があるので、蒸気漏れには十分注意する。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。
容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。
接触、吸入、あるいは飲込まない。
屋外、又は換気のよい区域でのみ使用する。
- 接触回避 : 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。
- 衛生対策 : 取扱い後は手をよく洗うこと。

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
静電気対策のために、容器および受器を接地する。
混触禁止物質：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
- 安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度**

作業環境評価基準

酢酸エチル	: 200 ppm [2012]
キシレン	: 50 ppm [2012]
エチルベンゼン	: 20 ppm [2013]
メチル-1,3-フェニレン=ジ	: 0.005 ppm [2012]
イソシアネート	

許容濃度

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

酢酸エチル	: OEL-M	200 ppm (720 mg/m ³) [2012]
キシレン	: OEL-M	50 ppm (217 mg/m ³) [2012]
エチルベンゼン	: OEL-M	50 ppm (217 mg/m ³) [2012]
メチル-1,3-フェニレン=ジ	: OEL-M	0.005 ppm (0.035 mg/m ³) [2012]
イソシアネート	: OEL-C	0.02 ppm (0.14 mg/m ³) [2012]

ACGIH

酢酸エチル	: TWA	400 ppm [2011]
キシレン	: TWA	100 ppm [2011]
	: STEL	150 ppm [2011]
エチルベンゼン	: TWA	20 ppm [2011]
メチル-1,3-フェニレン=ジ	: TWA	0.005 ppm [2011]
イソシアネート	: STEL	0.02 ppm [2011]
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メ チルフェノール	: TWA	2 mg/m ³ [2011]

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具	: 防毒マスク（有機ガス用）
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 安全ゴーグル 保護眼鏡 保護面
皮膚及び身体の保護具	: 保護服 安全帽 保護長靴 保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質**外観**

物理的状态	: 液体
形状	: 粘稠
色	: 淡黄色
臭い	: 溶剤臭

安全性データ

pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 3.5 °C
自然発火温度	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重	: 1.00 - 1.04
水への溶解性	: データなし

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

n-オクタノール／水分配係数 : データなし

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の状態では安定。

避けるべき条件 : 高温、湿気

混触危険物質 : アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物

危険有害反応可能性 : NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。
酸化剤と反応し、火災になることがある。

11. 有害性情報

製品:

急性経口毒性 : 区分外

急性経皮毒性 : 区分外

急性吸入毒性 : 区分3
急性毒性の推定 : 7.85 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: (蒸気)
方法: 計算値

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分2A感受性 : 呼吸器感受性: 区分1
皮膚感受性: 区分1

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 区分2

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分2(呼吸器系, 肝臓, 中枢神経系, 腎臓)
区分3(気道刺激性, 麻酔作用)

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分2(呼吸器系, 神経系)
区分2(嗅覚器, 腎臓)

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

成分:**酢酸エチル :**

急性経口毒性 : LD50 ラット: > 5,000 mg/kg

急性経皮毒性 : LD50 ウサギ: > 18,000 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 : 20 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: (蒸気)**プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :**

急性経口毒性 : LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg

急性経皮毒性 : LD50 ラット: > 5,000 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 ラット: > 41.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: (浮遊微粉末) / (煙霧)**キシレン :**

急性経口毒性 : LD50 ラット: 3,500 mg/kg

急性経皮毒性 : LD50 ウサギ: > 4,350 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 ラット: 29.08 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: (蒸気)**エチルベンゼン :**

急性経口毒性 : LD50 ラット: 3,500 mg/kg

急性経皮毒性 : LD50 ウサギ: 15,400 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 ラット: 17.2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: (蒸気)**メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート :**

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

急性経口毒性	: LD50 ラット: 5,840 mg/kg
急性経皮毒性	: LD50 ウサギ: > 9,400 mg/kg
急性吸入毒性	: LC50 ラット: 0.19 mg/l 曝露時間: 4 h
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール :	
急性経口毒性	: LD50 ラット: > 2,930 mg/kg
急性経皮毒性	: LD50 ラット: > 2,000 mg/kg

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性 (急性有害性) : 区分2

長期間毒性

水生環境有害性 (長期間有害性) : 分類できない

成分:

酢酸エチル :

急性毒性

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 164 mg/l
曝露時間: 48 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :

急性毒性

魚毒性 : LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h藻類に対する毒性 : EC50 (セテナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

キシレン :

急性毒性

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3.3 mg/l
曝露時間: 96 h

エチルベンゼン :

急性毒性

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 : 0.4 mg/l
曝露時間: 96 h

メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート :

急性毒性

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 12.5 mg/l
曝露時間: 48 h

2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール :

急性毒性

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.84 mg/l
曝露時間: 48 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

生体蓄積性

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート :

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.36 log Pow

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。汚染容器及び包装 : 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

国連番号 : UN2478
輸送品目名 : Isocyanates, flammable, toxic, n.o.s.
(containing
ethylacetate, Methyl-1,3-phenylene diisocyanate)
国連分類 : 3(6.1)
容器等級 : II
環境危険有害性 : 非該当

IMDG

国連番号 : UN2478
輸送品目名 : ISOCYANATE, FLAMMABLE, TOXIC, N. O. S.
(containing
ethylacetate, Methyl-1,3-phenylene diisocyanate)
国連分類 : 3(6.1)
容器等級 : II
海洋汚染物質(該当・非該当) : 非該当

国内規制

陸上輸送 : 消防法等の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号 : 155

15. 適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[酢酸エチル，キシレン，エチルベンゼン，トリレンジイソシアネート，2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール]
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条（施行令第18条））[酢酸エチル，キシレン，エチルベンゼン，トリレンジイソシアネート]
第2種有機溶剤（有機溶剤中毒予防規則）
特定化学物質障害予防規則（第2類物質）[エチルベンゼン，トリレンジイソシアネート]
特定化学物質障害予防規則（特別管理物質）[エチルベンゼン]
化審法 : 優先評価化学物質 [キシレン，エチルベンゼン，1,3-ジイソ]

アサヒシール プライマーA

整理番号 P126175J
版番号 1.0

改訂日 2013/02/25

発行日 2013/02/25

シアナト(メチル)ベンゼン]

化学物質排出管理促進法	: 第1種指定化学物質 [キシレン , エチルベンゼン , トリレンジイソシアネート]
消防法	: 第4類引火性液体, 第1石油類非水溶性液体, 危険等級II
船舶安全法	: 危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 引火性液体類
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1: 引火性液体

16. その他の情報

参考文献等	: 自社データ 日本工業規格(JIS) Z7252:2009 日本工業規格(JIS) Z7253:2012 その他文献調査等により得られた情報
-------	--

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。